

# 元気はつらつ新聞

発行：元気はつらつプロジェクト委員会

平成 29 年 3 月 17 日発行

番外編

〒 696-0401 邑南町布施 496 布施公民館内

TEL・FAX 0855-84-0651 IP 050-5207-5600 <http://zenihou.com>

## 目次

・プロジェクト委員の声

元気はつらつプロジェクト5年間の活動を振り返って、委員の皆さんのそれぞれの思いを語っていただきました。



邑南町の地域コミュニティ再生事業を受けて始動した、元気はつらつプロジェクトは今年度で終了します。町内でも先駆的に作られた「夢づくりプラン」をもとに自治会、公民館の役員、各団体から代表として選ばれたメンバーに地域マネージャーを加え、地域づくりを進めてきました。

この5年間の活動を振り返って、プロジェクトを支えてくださった委員の皆さんの声をご紹介します。

多くの方々と知り合いになれた事が、私の「やらなければ」のスイッチを何度も押し続ける事になった気がしています。

地域づくりに失敗はない・答えはない・不可能はない、の言葉を信じ、しあわせに生きていく為に、出来る事から再スタートしたいと思えます。

ありがとうございました。



高野山の整備（平成 24 年 6 月 23 日）

委員の皆さん、プロジェクト5年間お疲れ様でした。

数々の成果があり、とても良い活動であったと思います。各事業を主導されて来た方々には、今後とも地域のため活躍される事を期待します。

ひとつひとつの事業をしていく中で、地域のみならず協力し成し遂げていったパワーに驚き、地域のもつ大きな力を確信しました。この流れを止めることなく、幸せな地域での暮らしができるよう頑張りたいと思います。

地域を離れて生活されているみなさまに、応援や助言をいただき、一緒に地域の課題に取り組んでいきたいと思えますので、よろしくお願ひします。

プロジェクトが始まり、布施地区を取りまく状況が良い方向へ変わってきたと感じます。

今後この地域を未来へつないでいくため、プロジェクト活動を活かしながら地域全体でがんばっていきましょう。

良かったと思えます。これからもつづけてほしい。

「元気はつらつプロジェクト」の委員に位置づけていただいた5年間を振り返ってみると、委員とは名ばかりでほとんど活動らしい活動ができていないあとと申し訳なく思っております。

地域を活性化し、住民が元気に生活する銭宝地区であってほしいと思えますし、そのために自分にできることはしたいと思う気持ちは常にあるのですが、仕事の関係で合合にも遅刻することが多いなど、委員会に貢献できていません。今後もしばらくはお世話になることの方が多いのではないかと思いますが、できることをできる時にさせていただきます。よろしくお願いいたします。



プロジェクト委員会の様子（平成 24 年 6 月）



専光寺ライブ カフェの様子

色々な活動をしている事に驚きましたが、自分がどれだけかわっていたのかと考えると、反省するばかりです。今までやって来た事を今後も続ける様に努力したいです。

私も委員の一人として、一助となれていたら幸いです。

5年間の活動を打ちりにするのはなく、継続事業として、上手に今後の自治会、地区別戦略委員会に反映してほしいと思えます。

地域課題を解決し、住みよい元氣な地域にいたしましょう。



専光寺ライブ（平成 26 年 6 月 14 日）

大好きな「銭宝の里」が、これからもずっと存続できるといいなあ...と思えます。5年間の元気はつらつプロジェクトで、いろいろな取り組みを行い、成果も沢山ありました。

でも、活動が一部の有志のがんばりにとどまっていることが、とても残念です。

これからの地区別戦略の取り組みに、より多くの方が参画し、みんなで「銭宝の里」を元気にできたらいいと思っています。

ここで生まれ、この地で育ち、出会い・ふれあい・助け合って自然豊かなこの地で生きる。この故郷を大切にしたい！



島根大学生世帯訪問調査（平成 26 年 8 月）

広島在住時からの活動の関係で、会議、活動への出席、参加が出来ない事が多くあり、申し訳なく思っています。

今後の展開として、新しい活動だけでなく、今ある活動に（従来からある行事）対して予算が組める事を望みます。

はつらつの活動は、住民交流、里山景観保全を中心として取り組み、地域の生活に直接経済的効果を生み出すようなものではありませんでしたが、少なくとも地域の人的交流拡大や景観保全には大きく貢献してきたと思います。今後は、この活動を通して得られた知恵やノウハウを地区別戦略会議につなげ、更なる銭宝地域の発展につながるようお互いに努力して行きたいものだと思っています。

布施公民館長 森田仁成



白築純+白鶴山コンサート（平成27年6月6日）

この事業によって、5年間継続して皆さんの参加、協力のもとで、銭宝自治会で作っていた「夢づくりプラン」の一部の取組が出来ました。この事業は終わりますが、これまで組んだことを継続して行くことが大事だと思います。

前委員長 岡本 和幸



みんなの音楽会（平成27年11月8日）

元気はつらつプロジェクト委員会は、3月末には役目を終了します。住民の皆様や地元出身者の方々からのご協力とご支援、温かい言葉を受け賜わり、5年間の活動を継続することができたことに感謝申し上げます。

さて、5年間を振り返ってみますと、昔ながらの自然環境を取り戻すこととして、赤馬滝、龍岩神社、高野山の自然に手を加え景観を維持してきました。昨年の10月には、銭宝の里ウォーキングを企画し、町内外からの参加者を得て、3つの景勝地を楽しんでいただきました。楽しい文化的なイベントとして、山陰フィールハーモニオ楽団のメンバーによる演奏会、ジャズシンガーの白築純さん、アン・サリーさんとピアノスト小林さんのコンサート、地元の音楽グループの演奏等、世代を超えた参加者を得て音楽を楽しむことができました。

人との交流においては、島根大学作野教授のゼミ合宿生とインターンシップの大学生とによる地域住民との交流により、住民の皆様のもてなし、温かい対応により、大学生は銭宝での思い出を大切にしております。また、地域の包容力を示すことができました。また、地元出身者の方々とは、地域の状況をお知らせする便りを送り、地域と

のつながりを維持することに努めてまいりました。出身者の方々からは、温かいご支援、お声を頂き活動の励みになりました。

全般的に、5年間の活動は主として地域資源・魅力を引出す活動と交流を中心とした活動となりました。地域存続に向けた特定人口の増加、地域振興の具体策については未到達です。これらは、地区別戦略実行委員会にて具体化されるものと思えます。

最後に、銭宝の里は、過疎化、高齢化を一途にたどっておりますが、強靱なところをも持っております。それは、「地域の景観資源」、「元気な高齢者」、「地域の明るい雰囲気」、「集落営農の農業」、「大学生等の地域外との交流による地域環境」です。

今後とも、銭宝の里の地域づくりは進められていきますので、ご協力、力添えをよろしくお願い致します。

地域マネージャー 品川 隆博



出身者との交流登山（平成27年8月14日）

広島から邑南町へ移住して間もなくこの仕事のお話をいただき、約1年8カ月の間、はつらつプロジェクトに関わらせていただきました。

初めは、地域づくりの事も全く知識の

ない自分に、地域マネージャーの仕事は荷が重すぎるのではと感じていましたが、周りの方々の温かい支えと、公民館という場所である故に地域の方とお話しをする機会が多くある中で、色々な知恵を教えてもらったり、なによりまず、元気をもらったように思います。

人と人とのつながりと地域への思いが強いこの場所で、今まで持っていた自分の価値観を変えられたように感じます。

小さな地区だからこそ、自分たちの住みやすいように変えることができる。人口の多い都市部では難しいことが、小さいからこそできることが、今の仕事に関わらせていただいて、とても面白く感じています。

はつらつプロジェクトから次につながる地区別戦略では、20代や子育て世代にも関わってもらって、自分たちが住みやすい地域づくりと一緒に考えてもらえればと思っています。

地区別戦略でも、引き続き地域マネージャーとして関わらせていただくこととなります。

地域がこうなっていきたい、こういう事がしたい、など気軽に意見を聞かせていただけたらうれしいです。これからもよろしくお願いたします。

地域マネージャー 松崎 恵



邑南ラボ交流会（平成28年2月27日）



島大研究生と豆腐作り（平成28年3月7日）

平成24年から始まったコミュニティ再生事業「元気はつらつプロジェクト」も、この3月をもって5年間を迎え、終了することになりました。町からのご支援をはじめ地域の皆さん、他出者の方、またメンバーの皆さんや多くの関係者の方々には何かとご協力、ご声援をいただきましたこと厚く御礼申し上げます。

この5年間を振り返ってみますと、高野山、赤馬滝、龍岩神社の遊歩道、参道脇の整備やオープンカフェ、コンサート、講演会などのイベント行事、他出者や大学生さんとの情報交換、交流など種々努めてまいりました。

地域は今後もさらに高齢化が進んでいくことが予想されますが、そうした中にあっても今回の活動が、「元気はつらつ」につながる有形・無形の遺産となつて残ってくれることを信じています。

また、すでに昨年4月からは地区別戦略が始まっておりますが、この戦略を成果あるものに進めていくうえでも、この5年間の体験は大変有意義なものであったと感じています。今後の戦略の実行に当たりまして引き続き皆様のご支援、ご協力を心からお願いいたしまして御礼のことばといたします。有難うございました。

委員長 竹崎 亘